

## ★森のおはなし探検隊★

「紙の筒工作で、母の日のプレゼント作り」

紙の筒を使ってペン立てなどを作ります。

- 開催日時：5月8日(日) 13:00～
- 開催場所：子どもホール
- 参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

## Wood Burning の世界

静かに木の表面を眺めていると、  
自然のモチーフが浮かび、  
あたかも木と対話しているような感じがします。

— 焼き絵師 Kazumi —

- 展示日時：5月31日(火)まで 9:00～17:00  
※5月3・4・5日は19:00まで
- 場 所：管理センター 2階ロビー
- 観 覧 料：無 料(入園料は必要)
- 展示内容：北九州市出身の焼き絵師、Kazumi さんによる  
焼き絵の展示会を開催中です。  
今にも木から飛び出してきそうな動物たちの世界  
を、どうぞお楽しみください。

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。  
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

# 森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所  
北九州市小倉北区上到津 4-1-8  
Tel 093-651-1895 〒803-0845  
<http://www.itozu-zoo.jp/>

# 森のお便り 5月号 2016年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」16年5月1日発行 通巻159号

## ゆめある動物園プロジェクト 「動物のお医者さんになっちゃおう！」

獣医の仕事を経験します！

- 開催日時：5月15日(日) 13:00～14:30
- 定 員：先着3組(1組4名程度)
- 要事前申込：5月3日から電話にて受付

## 到津の森調査隊「春の図鑑作り」

園内で生き物を探し、図鑑で調べます！

- 開催日時：5月22日(日) 13:00～14:30
- 定 員：6組(1組4名程度)
- 要事前申込：5月3日から電話にて受付

## ウサギとモルモットの飼育教室

- 開催日時：5月28日(土) 15:00～16:00
- 定 員：5組(1組4名程度)
- 要事前申込：5月17日から電話にて受付

到津の森公園 TEL 093-651-1895  
※定員になり次第、受付を締め切らせて  
いただきます。

# 花暦 皐月

初夏5月はまぶしい新緑の季節。園内も葉桜をはじめとして、ユズリハ・クサギ・チシャソウ・トベラ…。あまりに身近で見過ごしてしまう彼らも、それぞれの色や形、葉脈が透けて見えたり、葉や小枝の産毛に雨粒が光っていたりと、若葉散歩での発見は多いものです。

更に一つ一つ見あげながら歩くと、小石につんのめる事もありますが、大木に目立たない小さな花々が見つかります。巨木のクスノキにさわやかな香りの早緑の小花の束、イヌツゲの葉の付け根には、多数の雄花に囲まれる一つの雌花、イヌシデの古木には雄花の5cm位の穂が垂れ下がり、子犬の尾のようにだから、この名が付いたとか。

さて「野草園」ではカラタネオガタマの花が開き始めました。江戸時代に中国南部からやって来たと言われていますが、最近特に庭木に植栽されている事が多くなりました。モクレン科特有の厚手の花びらは6枚、径3cm程の黄白色で、なかなか全開せず、特別目立つものではありませんが、果物のような甘く、しかもしつこくない香りは、本当に好ましいもの。日本在来種のオガタマノキとは少し風情が違いますが、趣のある名前、小ぶりである事、西日本で育てやすく、手をいれなくても姿よく育つ事などから、これから益々家庭で用いられるのではないかと思います。

古くからの公園では3m以上で、枝先にびっしり花をつけて元気なカラタネオガタマに出会って、驚く事もあります。また最近では、紅色・白色も開発されて、販売されているようです。

## 【おばさんの玉手箱】

5月は新緑と共に糠(ぬか)漬けデビューのシーズンです。作り方はNET等に種々紹介されています。必要なのは塩・水・糠(米直売所等の生糠にこだわって)だけで、あっさり気分でチャレンジ。肩に力は要りません。6月には早くもベテラン風味にできる魔法の植物を紹介します。

それまでに手作りの発酵食品育てを、はじめて・続けて・楽しんでみて

文：花咲くおばさん

# 森のなかま・アムールトラ

## アムールトラのチャチャを受け入れました

4月14日に発生した平成28年熊本地震。その余震がまだ続いている熊本市動植物園から、4月23日のお昼過ぎ、アムールトラの「チャチャ」ちゃんが、安全確保のために到津の森公園に引っ越ししてきました。

引っ越し当日は、部屋に入るとすぐに水をゴクゴクと飲んで、新しい部屋を見わたしながらしばらくウロウロしていましたが、長い移動でお疲れ気味だったようで、その後はトローンとした眠たそうな表情に変わり、横になって体を休めていました。

健康状態は特に問題はないようで、夕方には自ら近づいてきて餌を食べてくれました。私達もとりあえず一安心。隣の部屋の主のミライもお隣に誰かが居ることは分かっているようで、気になってはいるようです。チャチャはまだ新しい環境にあまり慣れていないようですが、引っ越しから3日目には1度だけ「フフン」とあいさつをしてくれました。

夜はミライとチャチャがお互いにいい話し相手になってくれればいいなと思います。

熊本市動植物園に戻れるようになるまで、チャチャをしっかりとお預かりしますので、どうか温かく見守っててください。



飼育展示係 川口 莉穂